

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年5月27日(2022.5.27)

【公開番号】特開2021-32818(P2021-32818A)

【公開日】令和3年3月1日(2021.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-011

【出願番号】特願2019-155973(P2019-155973)

【国際特許分類】

*G 0 1 C 15/00 (2006.01)*

10

【F I】

*G 0 1 C 15/00 1 0 3 D*

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月19日(2022.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基盤部と、該基盤部に対して水平方向に回転される回転台座とからなる測量機本体と、測量作業員に測量機本体の視準方向を示すためにガイド光を照射するガイド光照射部と、カバー部材とを備え、前記回転台座には測距光学系の鏡筒部が垂直方向に回転可能に支持される支持部材が設けられ、前記カバー部材は前記支持部材と前記鏡筒部とを含めた測量機本体とガイド光照射部とを被覆している測量機において、

前記ガイド光は、前記ガイド光照射部の光軸中心を境として左右で態様の異なる光から構成され、

前記ガイド光照射部は、前記ガイド光照射部の光軸が水平方向においては前記鏡筒部の光軸と略平行となるように、前記鏡筒部とは水平方向にシフトして前記支持部材に保持され、

前記ガイド光の水平方向の照射角度を $\theta$ 、前記測量機本体の最短使用距離を $C_{min}$ とすると、前記ガイド光照射部の光軸と前記鏡筒部の光軸との水平シフト距離 $D$ は、

$$\tan(\theta/2) \times C_{min} > D$$

を満たす、

ことを特徴とする測量機。

【請求項2】

前記ガイド光照射部は、その光軸中心を境として左右で態様の異なる基礎ガイド光を照射する照射機を複数備え、

前記複数の照射機は鉛直方向に複数並設され、

前記複数の照射機からそれぞれ照射された基礎ガイド光の合成光がガイド光として視認される、

ことを特徴とする請求項1に記載の測量機。

【請求項3】

前記カバー部材は、前記鏡筒部の光軸上に窓を有し、

前記窓は、前記カバー部の略底面から略上面まで鉛直方向に伸びて形成されている、

ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の測量機。

【請求項4】

前記窓は、前記カバー部材の略底面から略上面まで伸び、さらに上面にも伸びて二面にわ

30

40

50

たり連続して形成されている、  
ことを特徴とする請求項3に記載の測量機。

【請求項5】

前記鏡筒部の回転軸と、前記ガイド光照射部のガイド光照射口とが、上下方向に略一致するよう、前記ガイド光照射部は配置される、  
ことを特徴とする請求項1～請求項4のいずれか一項に記載の測量機。

【請求項6】

前記ガイド光照射部は、垂直方向に摺動可能、または垂直方向に回転可能に、前記支持部材に支持される、  
ことを特徴とする請求項1～請求項5のいずれか一項に記載の測量機。

10

20

30

40

50